

地域医療患者支援センター・がん相談支援センターだより



秋田大学医学部附属病院 地域医療患者支援センター・がん相談支援センター 発行

第 39 号

秋田県がん患者医療用補正具助成事業が開始となりました！

秋田県では、平成 29 年度から、がん治療に伴い医療用補正具（ウィッグ（かつら）又は乳房補正具）を使用する患者さんのがん治療と就労や社会参加の両立を支援するとともに、購入に伴う経済的負担を軽減するため、補正具の購入費用の一部を助成することになりました。

☆対象者、助成内容、申請書類、申請窓口等については、
添付のリーフレットをご参照下さい。

☆詳細に関しては県のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/26803>



今後、治療を受ける患者さんが助成事業について情報を知りたい、相談したいという場合、地域医療患者支援センター・がん相談支援センターをご紹介・ご連絡いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

共同指導での指摘事項

平成 29 年 7 月 28 日(金)に、厚生労働省並びに東北厚生局及び秋田県による共同指導が実施されました。センターに関わることとして、以下の指摘を受けました。

1. 退院支援に関する診療録への記載不備

- ・退院時の退院先の記入…例えば、自宅へ退院、ショートステイへ退院等
- ・退院前カンファランスを実施した場合、その内容の記載



2. ポスター掲示にある相談対応時間と施設基準に掲載されている時間の整合性



※診療録への記載の周知をよろしくお願いします。

※時間を修正したポスター掲示については、差し替えのため、現在準備中です。

「知っつく医療のつぼ」に出演

平成 29 年 6 月～7 月の 2 か月間、シリーズ「がんと診断されたときに」がテレビ放送されました。安藤秀明副センター長はじめ、がん医療に携わる医師・看護師・MSW の多職種の協力のもと、無事に収録・放送することができました。

センターでは、放送開始後から、電話や面談での相談希望者が増加し、メディアの影響力の大きさを実感しています。今後も、より多くの方々に、相談できる窓口があることを知っていただき、ご利用いただければ幸いです。

今後、玄関ホールで
放映できないか検討
しています。



第14回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会

平成29年7月7日～8日に千葉大学で開催され、全国42大学から医師・看護師・MSW・心理士・事務職等308名の参加があり、当院からは、廣川誠センター長はじめ4名が参加しました。ポスターセッションでは、滝口萌 MSW が「秋田大学医学部附属病院におけるがん患者の就労支援」というテーマで発表しました。秋田県をはじめ、就労に関わる関係機関と協力し、連携を図りながら取り組んでいるところに大変注目が集まりました。



活動報告

秋田竿燈まつり 市民パレードに参加

平成29年8月6日(日)に秋田県がん診療連携協議会がん患者相談部会と秋田県がん対策室の総勢17名がパレードに参加しました。多くの市民や観光客が見守る中、風船やポケットティッシュを配布しながら、がん相談支援センターの認知度向上を図るためにPRしました。



ブースを設置し、活動を紹介しました。

市民公開講座を開催しました

平成29年7月1日(日)に緩和ケアセンターと共催で市民公開講座を開催し、大変満足度の高い内容であったと好評を得ました。

当日の会場の様子を一部、写真で紹介いたします。

受付担当の皆さん、準備中です。

お知らせ

瀬田川美香看護師が一般外来から当センターに配置替となりました(6/25)

日々、多職種との連携の大切さを認識し、また患者さんへの支援の難しさを感じています。これからはレシピエントコーディネーターとの兼任になりますが、これから腎移植を考えている方や腎移植を受けた方への支援や日常生活管理などを、医師・薬剤師・看護師・病棟のレシピエントコーディネーターなど、様々な職種のスタッフと連携しながらケアをしていきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

